

中学生議会

開催



中学生議会に参加した生徒と主催・共催者の皆さん

これは、中学生たちが自分の住むまちを知り、将来について考えることで、まちづくりや市政への関心を高めてもらおうと、市と市教育委員会が主催し、市議会、岩瀬・真壁・常陸大和ライオンズクラブとの共催で行われました。

当日は、生徒たちの中から1名が議長・13名が議員を務めました。また、市議会と同じように議事を進め、市長をはじめとする市執行部に質問や提言などを述べました。

その質疑応答の内容をご紹介します（順不同）。なお、紙面の都合上、内容を一部省略しています。

8月3日、市役所岩瀬庁舎の市議会議場で、市内4つの中学校・義務教育学校（後期課程）の生徒が参加した「桜川市中学生議会」が開催されました。



議長を務めた
岩瀬東中学校の上野 晃輝さん

私たちが議員の皆さんの質問に答えました



市村 教育長



高橋 副市長



大塚 市長



斉藤 保健福祉部長



岩瀬 民生生活部長



久見木 総合戦略部長



青木 総務部長



坪井 市長公室長



佐谷 教育部長



上野 会計管理者



高橋 上下水道部長



今井 建設部長



初芝 経済部長

水戸ホーリーホックとの交流試合や地域交流イベントといった取組が地域活性化にも繋がると感じます。水戸ホーリーホックのホームタウンとして今後、連携をどのように進めていくのか伺います。

真壁学園義務教育学校
すぎやま 杉山 はね虎 議員

坪井 市長公室長

水戸ホーリーホックとの連携については、市の知名度向上を目的とした「PR大使による広報・誘客活動」、ホームゲーム開催日に合わせた「桜川市の日」の開催、技術指導やチームワークの重要性を学ぶ「サッカー教室」の開催など、青少年育成を目的とした取り組みを推進していきます。

岩瀬東中学校
いわた 岩村 麟太郎 議員

物価高騰が続く中、給食費無償化を実施した理由と、物価高騰による食材費増加への対応、そして今後も無償化を継続していくのか考えをお聞かせください。

青木 総務部長

給食費無償化は物価高騰による保護者の経済負担を軽減することと、児童・生徒の皆さんが安心して給食を食べられるようにするために実施されました。食材費増加には地元食材の使用や、業者による入札制度を活用して費用を抑えるなど工夫を行い対応しています。無償化継続については、国の動向を見守りながら検討していきます。

通学路の防犯灯の把握方法と今後の整備方針、学校や警察・市が連携した危険箇所の点検や、生徒・保護者の意見を反映した見直し方法の検討について伺います。

岩瀬東中学校
ふじし 藤田 真央 議員

岩淵 市民生活部長

通学路における防犯灯設置は、学校でまとめた通学路危険箇所を基に県警・市関係機関などで構成する「桜川市通学路安全推進会議」にて危険箇所について協議しています。生徒や保護者の方から危険箇所を把握する方法は有効であると考えますので、今後も関係各所と連携して安全対策を行います。

市で課題となっている、農業従事者の高齢化や後継者不足について、農業の担い手確保に向けた現在の取り組みと、農業の魅力を生かした移住・定住促進について、今後の方針を伺います。

真壁学園義務教育学校
ひろせ ゆづき 廣瀬 優月 議員

初芝 経済部長

若い世代の方に農業が魅力的と思えるよう、ドローンなどを活用した「スマート農業」の導入や、新たに農業を始める方向けに「就農相談会」などの支援を行っています。今後も、移住希望者と地域を繋ぐ役割を担い、農業体験、住まいの紹介、就農支援、地域との交流などを一体的に進めていきます。

岩瀬東中学校
あきあ 麻尾 利菜 議員

市では、地域移行したスポーツ・文化活動について、生徒が活動内容や雰囲気を知るための体験会や見学会をどのように実施していますか。また、定期的な体験活動を行う考えはありますか。

市村 教育長

地域クラブの活動については、生徒や保護者の方に活動内容を知ってもらうため、中学校の入学説明会にて各紹介動画の上映や、加入募集や体験会の開催のチラシ配布など情報提供を行っています。体験会は各クラブで年間を通じて実施しているため、興味を持った際には体験・参加が可能となっています。



緊張しながら議場へ入場



真剣な表情で答弁を聞く議員の皆さん

中学生の間で「地域の方との距離を感じる」などの意見を耳にします。公共施設を利用した地域全体の交流、活性化に繋がるイベントなど、新たな交流の場を設けていただくことは可能でしょうか。

岩瀬西中学校
まひさわ こうよう 海老澤 向陽 議員

久見木 総合戦略部長

地域の多世代交流は「地域力の向上」や「青少年の居場所づくり」において重要な取り組みです。交流の場としてまずは、学校行事と連携した文化祭や体育祭に地域住民の方を招き、交流の輪を広げていくことが有効であると考えます。今後も、多世代交流の機会創出を検討していきます。

岩瀬西・東中学校サッカー部は合同でサッカーコートを利用していますが、コート内の芝生が剥がれている箇所があります。安全な競技環境確保のため、コートの補修・整備を行うことは可能でしょうか。

岩瀬西中学校
いとうしろう 伊藤 謹 議員

今井 建設部長

芝生については毎年、比較的使用の少ない1月から3月までを養生期間として設けていますが、利用頻度の高い施設のため、十分な状態までに回復することが難しい状況です。今後も、芝生の状態を定期的に確認しながら、補修や維持管理を行い、安全で快適に利用できる環境づくりに努めていきます。

大和中学校
おおはた 大畠 優希 議員

授業や委員会活動でタブレット端末を使用する際、通信が途切れ活動に支障が生じています。円滑なデジタル学習のため、学校のネット環境を改善していただくことは可能でしょうか。

佐谷 教育部長

普段授業が行われていない部屋は、別室の無線アクセスポイントへ接続する必要があるため、壁などの障害物が通信に影響を与えていると考えられます。今後は、ネット環境の設定について先生方と協議し、アクセスポイントの増設など、各教室の利用状況に合わせたネット環境改善に努めていきます。

大和中学校のプールは老朽化が進み危険な箇所もあり、修繕費などの費用が多くなると聞きます。サンパルや真壁学園のプールを市内の小中学生の授業で利用することは可能でしょうか。

大和中学校
ひろせ りゅうのすけ 廣瀬 竜之介 議員

高橋 上下水道部長

市内小中学生の授業でサンパルや真壁学園のプールを利用することは有効な方法だと考えます。しかし、校外への移動に伴い、水泳の授業内容への影響や、児童生徒の送迎に係るバスの運行経費など課題を整理する必要があります。学校そして関係各課と協議していきたいと思っています。

真壁学園義務教育学校
たかみや けいた 高宮 圭汰 議員

少子高齢化や人口減少への対応として、市が重点的に進めている施策と、今後特に力を入れて取り組もうとしている施策をお聞かせください。

高橋 副市長

支援策としては、出産時と小中学校入学相当時にお祝い金を支給する「子育て3Step応援金」、小中学生の子どもを持つ子育て世帯の経済的負担を軽減する「学校給食費無償化事業」、小児科医・産婦人科医・助産師に24時間相談できる「オンライン相談事業」などがあります。今後も施策を展開し人口減少対策に繋げていきます。

部活動の地域移行が進む中、吹奏楽部など文化部の対応が進んでいないように感じます。運動部と同様に、地域で活動できる文化部のクラブチームを作ることはできないでしょうか。

大和中学校
つたかわ こころ 新田川 心希 議員

上野 会計管理者

市では、市文化協会をはじめとする関係団体や地域の皆様と話し合い、地域クラブ設立の支援を進めた結果、現在11種類・14の文化芸術団体が活動しています。今後も、生徒の皆さんが安心して参加できる場の提供に努めるとともに、文化芸術活動を支える仕組みづくりを推進していきます。

真壁学園義務教育学校
ひろせ おうすけ 廣瀬 旺南 議員

市の魅力発信による交流人口増加と地域活性化のために行っている現在の取り組み、そして中学生が地域の魅力発信や、地域づくりに参加する機会を拡大していく考えがあるのか伺います。

大塚 市長

市の取り組みとしては、SNSの活用や「るるぶ特別編集 桜川市」など観光パンフレット配布、都内での移住相談会やイベントに参加し、魅力をPRしています。また「小中学生アンケート」により、児童生徒からいただいた意見を桜川市総合計画に取り入れ、市政に反映していきたいと考えています。